

宿泊施設の確保

当時の状況

- 被災地域（奥能登）で復旧作業を行うため、**復旧作業員や後方支援者用の宿泊施設の確保**が必要となり、民宿やホテル等の宿泊施設に、電話や現地訪問にて利用可否を確認。しかし、建物損壊や断水で既存宿泊施設はほぼ利用不可。金沢市等の周辺地域の宿泊施設からは、奥能登まで往復約8時間要したため、復旧作業時間を確保する目的で、多数の関係者が車中泊を余儀なくされた
- その後、断水中の被災民宿やホテルの利用（雑魚寝）に加え、**トレーラーハウスやコンテナハウスの設置**により、一部の宿泊場所を確保。トレーラーハウス等の設置箇所については、被災して営業されていない店舗や施設の駐車場等を地図上で探索し、土地所有者・連絡先を調査の上、電話や現地訪問にて交渉した
- トレーラーハウス等の利用にあたり、**清掃等の維持管理を被災事業所の社員が実施**

主な対応

1. 宿泊施設の確保・管理

- 1-1. トレーラーハウスやコンテナハウスの調達
- 1-2. トレーラーハウスやコンテナハウスの設置場所確保
- 1-3. トレーラーハウスやコンテナハウスの維持管理



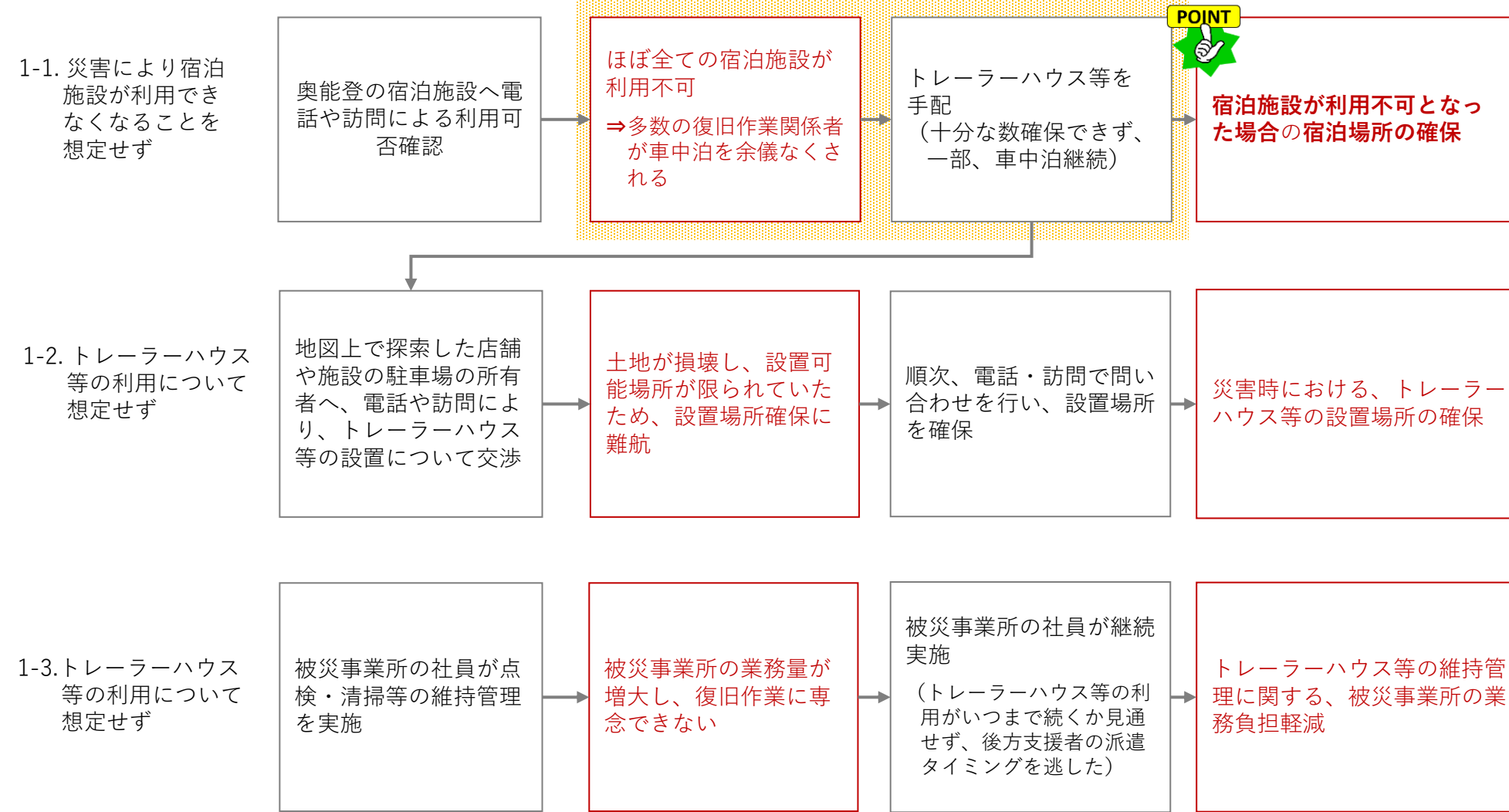
車中泊の様子



コンテナハウス



トレーラーハウス



1-1. トレーラーハウスやコンテナハウスの調達

凡例：[]は社外相手先

課題	● 宿泊施設が利用不可となった場合の宿泊場所の確保	POINT	<ul style="list-style-type: none"> ● トレーラーハウス等を取り扱うレンタル事業者を予め調査し連絡先等をリストアップ →災害対応マニュアル（資材班）に記載 ● その中から、災害時における優先的な簡易宿泊施設の調達に関する同意を得る →[トレーラーハウス等を取り扱うレンタル事業者]同意を得た事業者と災害時連携協定を締結
		対策	<ul style="list-style-type: none"> ● レンタル利用時の申請手続きや社内の対応フローの整理 →災害対応マニュアル（労務厚生班）に記載

1-2. トレーラーハウスやコンテナハウスの設置場所確保

課題	● 災害時における、トレーラーハウス等の設置場所の確保	対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 平時から各市町村ごとにトレーラーハウス等の設置候補地を地図上に落とし込み、土地所有者及び連絡先を調査しリストアップ →災害対応マニュアル（支店・支社）に記載

1-3. トレーラーハウスやコンテナハウスの維持管理

課題	● トレーラーハウス等の維持管理に関する被災事業所の業務負担軽減	対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 平時の事業所清掃委託事業者に対するトレーラーハウス等の維持管理委託（受諾確認） →[現行の清掃委託事業者]受諾の場合、契約内容を変更（仕様の追加） ● トレーラーハウス等の維持管理委託が可能な清掃事業者を調査し、連絡先等はリスト化し共有 →[北陸3県の清掃事業者]受託可否の調査 →連絡先等は災害対応マニュアル（資材班）に記載
			<ul style="list-style-type: none"> ● 外部業務委託が困難な場合の、社内応援派遣体制の整備 ・ 後方支援者に対する指揮命令系統や後方支援に関する社内での役割分担（後方支援者を集約する部署、物資等の調達を行う部署等）等を明確化 →社内規則（後方支援に関する業務指針）の制定（2025年7月制定）